

音楽の宝石箱

～様々な輝きとの出会い～

毎年好評の人気講座「音楽の宝石箱」を今年も開催します！
大阪音楽大学の現役講師陣による、解説付きコンサートです。

第1回 12月4日 金 開演：14時 開場：13時30分

『打楽器・その豊饒な音世界』

・講師・高鍋 歩（大阪音楽大学講師）

第2回 12月11日 金 開演：14時 開場：13時30分

『サクソフォーンはオールラウンドプレイヤー！』

・講師・井上 麻子（大阪音楽大学特任准教授）

第3回 12月18日 金 開演：14時 開場：13時30分

『ベートーヴェン第九交響曲の魅力とは？』

・講師・清原 邦仁（大阪音楽大学講師）

第4回 12月25日 金 開演：14時 開場：13時30分

『ベートーヴェン生誕250周年によせて』

～ベートーヴェンを取り巻く編曲家たちの知られざる珠玉の作品
あの、田園交響曲は弦楽六重奏になっていた!!～

・講師・上塚 憲一（大阪音楽大学教授）



高鍋 歩

井上 麻子

清原 邦仁

上塚 憲一

会場 高槻市立生涯学習センター2階 多目的ホール

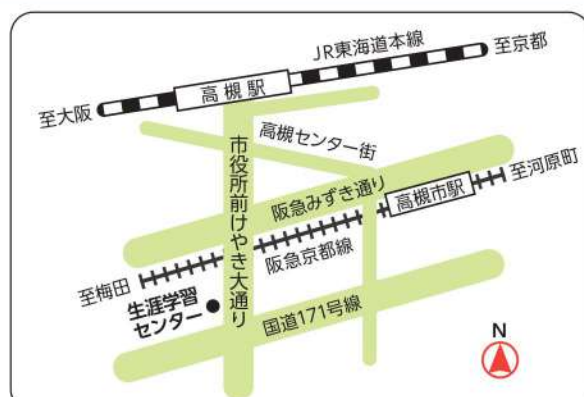
定員 150人

受講料 3,000円（全4回分）
※1回受講は各回1,000円。当日会場で申込み。先着順。

申込方法 窓口または、はがき・FAXに ①講座名 ②郵便番号・住所
③氏名（ふりがな）④電話番号を記入の上、下記へ。
（9/11以降はお電話にてお問合せください。）

申込み
問い合わせ 〒569-8501（住所不要）
高槻市立生涯学習センター（市役所総合センター内）
TEL：072-674-7700 FAX：072-674-7704

共催 高槻市・大阪音楽大学



■JR高槻駅より徒歩10分 ■阪急高槻市駅より徒歩10分

※新型コロナウイルス感染症の影響により、講演内容が予告なく変更となる場合があります。



高鍋 歩
大阪音楽大学講師

第1回 12月4日 金 『打楽器・その豊饒な音世界』

●共演者：圓山 未菜（打楽器・ピアノ）

無数に種類のある打楽器の中でも「小物打楽器」と呼ばれる持ち運びが可能な小さな打楽器にスポットを当て、その魅力に迫ります。

◆講師プロフィール

兵庫県立神戸高校を経て、愛知県立芸術大学卒業。1996年に大阪市音楽団（現オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ）に打楽器奏者として入団、現在に至る。年間100回を超える公演に参加しつつ、他団体への客演や全国各地でのクリニック、スタジオレコーディング、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストの審査員を各地で務めるなど、多岐に渡って活動の場を広げている。パーカッションパフォーマンス「Beat JACK」、室内合奏団「アフター・アワーズ・セッション」各メンバー。2017年、2019年と2回に渡り「トリオ・ジパング」のメンバーとしてパキスタンに招かれ、イスラマバード・カラチで公演を開催し好評を博した。大阪音楽大学、大阪府立夕陽丘高校非常勤講師。関西打楽器協会理事。



井上 麻子
大阪音楽大学
特任准教授

第2回 12月11日 金 『サクソフォーンはオールラウンドプレイヤー!』

●共演者：藤井 快哉（ピアノ）

クラシックからジャズ・ポップスまで幅広いジャンルで活躍しているサクソフォーンの魅力を、発明の経緯、発音の仕組み等の解説を交えてお楽しみください。

◆講師プロフィール

大阪音楽大学を卒業後、国立パリ高等音楽院サクソフォン科を審査員全員一致の首席で修了、セルマー賞受賞。在仏中、2年間文化庁派遣芸術家在外研修員として奨学金を授与される。兵庫県芸術奨励賞、サントリー芸術財団「佐治敬三賞」等受賞多数。アジア・ヨーロッパ各地の音楽祭、コンサートに出演する他、国内外のコンクール等の審査員も多数務めている。現在、大阪音楽大学特任准教授。



清原 邦仁
大阪音楽大学講師

第3回 12月18日 金 『ベートーヴェン第九交響曲の魅力とは?』

●共演者：藤村 江李奈（ソプラノ） 前川 裕介（ピアノ）

日本で最も有名なクラシックの名曲【第九】。なんと、年末に歌うのは日本だけ!世界からもビックリの日本の第九事情!そんな裏話もお話したいと思っております。会場の皆様にも第九の魅力を知って頂くために《体験コーナー》として一番有名な部分【通称“M”】を合唱してみませんか?講師とゲストによるミニコンサートもお楽しみください。

◆講師プロフィール

大阪音楽大学大学院修了。これまでに数々のオペラに出演し、約40もの多様な役柄を好演。帝国劇場ミュージカル「レ・ミゼラブル」などにも出演し、イタリアでは「蝶々夫人」ゴローを演じ各紙で好評を得た。自主企画オペラなどの演出も手掛け、合唱指揮者としても活躍する。関西歌劇団理事。大阪音楽大学講師。平成17年度大阪舞台芸術新人賞、平成25年度大阪文化祭奨励賞、吹田市文化功労者賞受賞。



上塚 憲一
大阪音楽大学教授

第4回 12月25日 金 『ベートーヴェン生誕250周年によせて』

～ベートーヴェンを取り巻く編曲家たちの知られざる珠玉の作品
あの、田園交響曲は弦楽六重奏になっていた!!～

●共演者：山田 聖華（第1ヴァイオリン） 三浦 裕梨香（第2ヴァイオリン）
上野 亮子（第1ヴィオラ） 吉海 めぐみ（第2ヴィオラ） 土井 真理（第2チェロ）

当時、宮廷や家庭ではその時に流行っている交響曲やオペラを室内楽編成にアレンジして楽しむ習慣があったようです。本講座では、生誕250年を迎えたベートーヴェンを中心に、その時代に室内楽編成にアレンジされた室内楽作品を取り上げ、新たなベートーヴェンの魅力に迫りたいと思います。コロナ禍以降、なかなか味わえない壮大なオーケストラ・サウンドとは違った、ソーシャル・ディスタンスの取れる室内楽で織りなす、ハーモニーをお楽しみください。

◆講師プロフィール

1981年京都市立芸術大学音楽学部卒業。チェロを黒沼俊夫、バロックチェロをA.ビルスマ、室内楽をG.ボッセ、S.スタンディジの各氏に師事。1991年、98年大阪文化祭奨励賞、91年神戸灘ライオンズクラブ賞、92年坂井時忠音楽祭を受賞。現在は大阪音楽大学教授、同音楽院登録講師、県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団運営副本部長、同ジュニア・オーケストラ常任トレーナー、西宮音楽協会会員。

ご来場者の声
大満足の声たくさん!

— 令和元年度アンケートより抜粋 —

楽曲、作曲者の説明を交えての演奏は大変良かったです。

クラリネットのいろいろな奏法が聴けて良かったです。

これで一回1,000円はすごすぎます。

素晴らしいプログラムでした。是非再演していただきたい!!

クラリネットとピアノのハーモニーが素晴らしいかったです。

とても素晴らしく、幸せな時間でした。